

令和3年度実施協働事業

調査結果

【調査の内容】

令和3年度に国分寺市が市民活動団体等と実施した協働事業の実績を調査。
平成19年度実績より調査を実施。

【調査の目的】

- ①国分寺市内で行われた協働事業の実態を把握するため。
- ②協働の実績を庁内で情報共有し、市民に公表するとともに、協働事業の参考事例として今後の協働の取組みに活用するため。

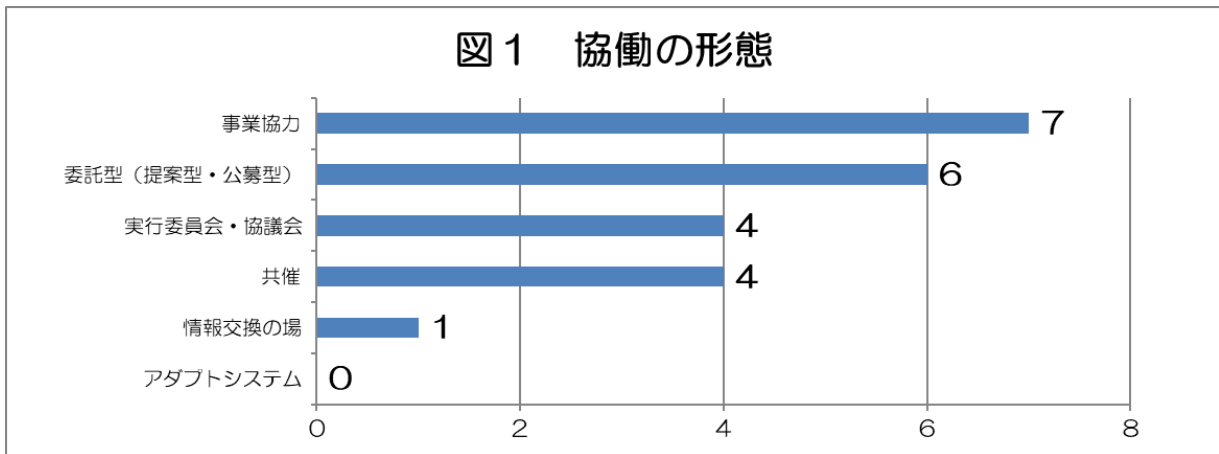
【調査の概要】

- (1) 調査対象：全50課
- (2) 調査対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日
- (3) 調査方法：イントラ掲示板にて「調査票」への回答を依頼
- (4) 回収結果：回答数15課（昨年度14課回答／該当しない場合、回答の必要なし）

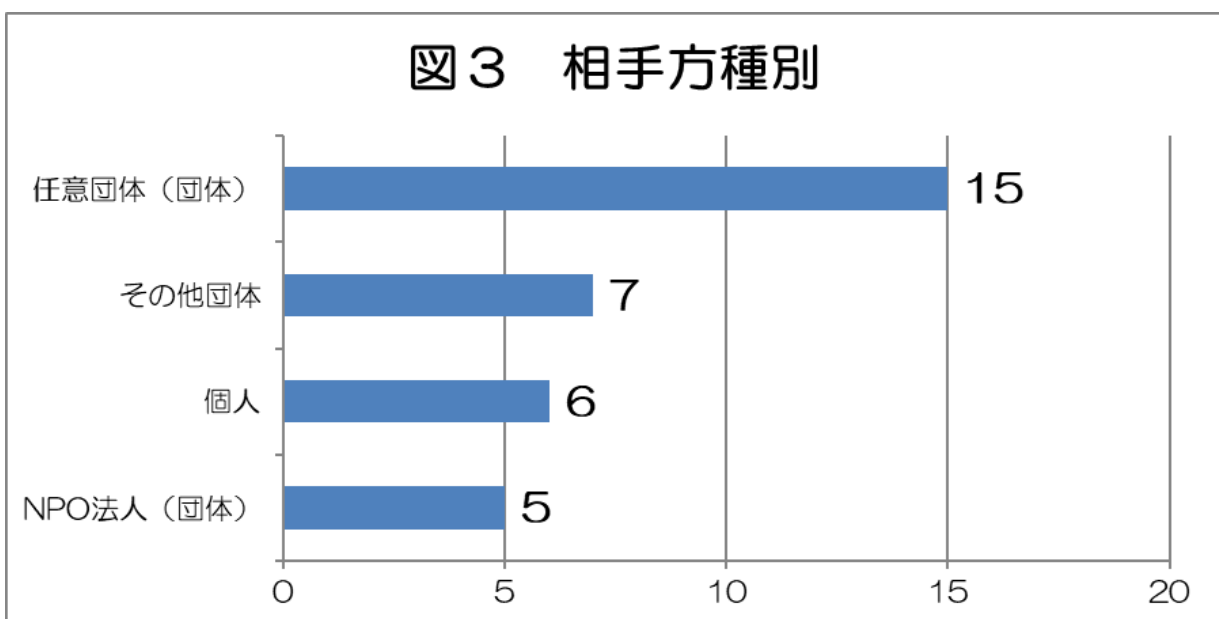
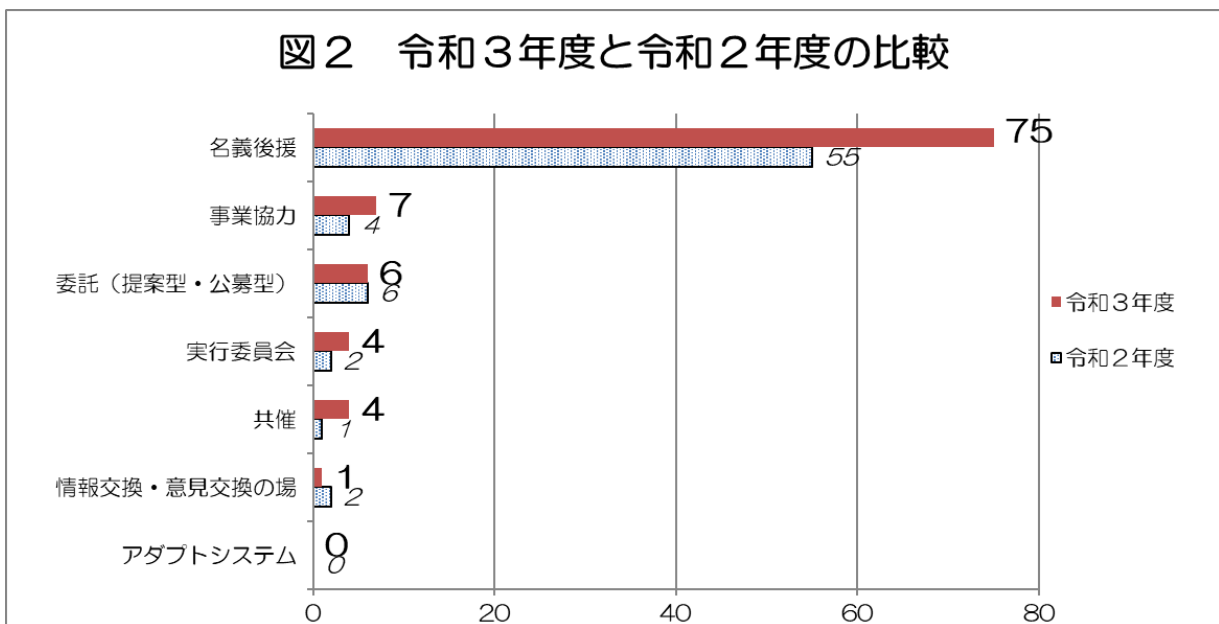
市民や市民活動団体と実施した協働事業概要について、調査票に記載する方法とした。
なお、調査対象は、市民活動団体等と実施した下記の7形態とした。

事業の形態	説明
共催	市民活動団体等と市が共に事業主体となって事業を行う協働形態
実行委員会・協議会	市民と市が実行委員会や協議会を構成し、実行委員会や協議会が主催者となり事業を行う協働形態
アダプトシステム	地域に密着した市民活動団体等がその地域にある公共施設（道路・公園・河川など）の「里親」（adopt:養子縁組）となって、清掃や植生管理などを行い、市がその作業に対して、必要な用具の貸与や損害保険料の負担、広報誌等による活動の紹介を行う協働形態
委託 (提案型協働事業・ 公募型協働事業)	市が責任をもって行うべき事業、又は市が採択した市民活動団体の事業提案を、市民活動団体の特性を活かして、より効果的な取組を行うために委託契約を行う協働形態
名義後援	市民活動団体等が実施する事業を支援するため、市が後援という形で名を連ねる協働形態
情報交換・意見交換 の場	自由な情報交換・意見交換の場を設定して地域づくりのヒントや課題を共有する協働形態
事業協力	市民活動団体等と市がお互いの特性を活かし、協力しあいながら事業を実施する協働形態

【調査集計】



【総数：令和2年度 70 件/令和3年度 97 件】



注：1事業に複数の団体が関わっている場合、複数回答となり、合計数は事業数と異なります。

図4 概算事業費額

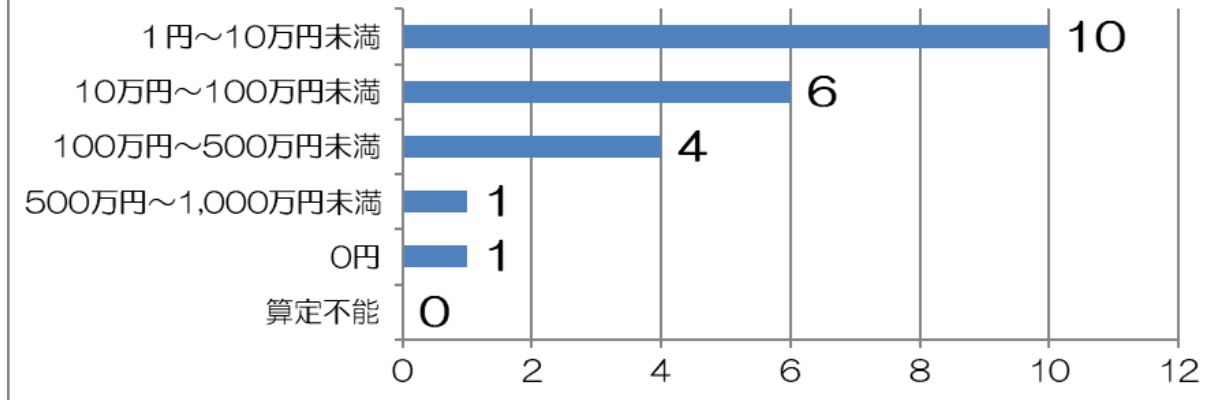
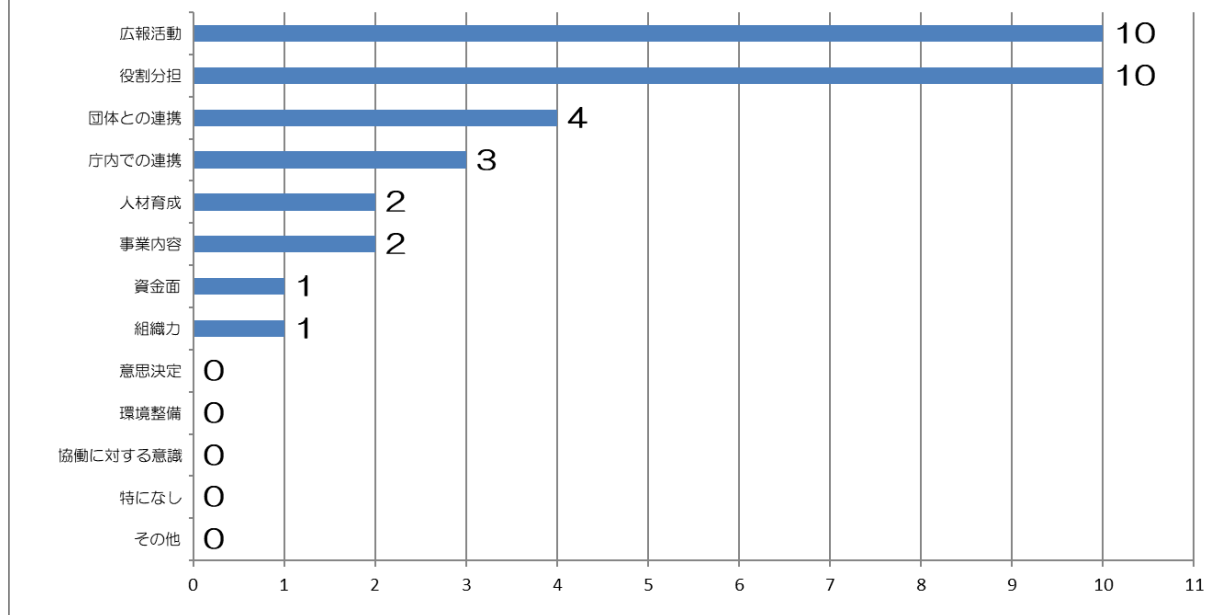
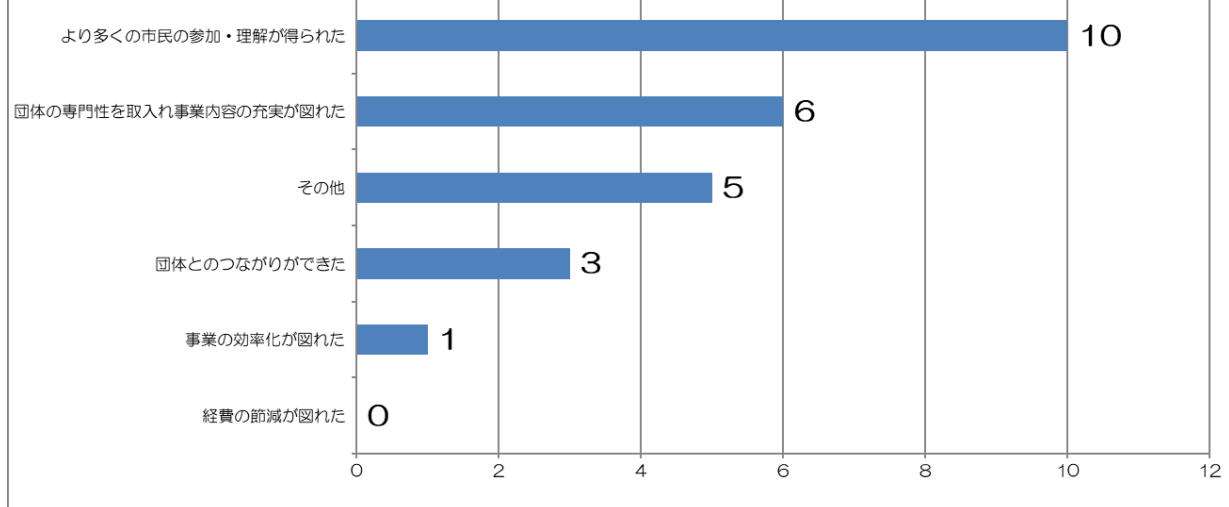


図5 最も重要と思われる課題



注：最も重要と思われる課題に対し複数回答の課があったため、合計数は事業数と異なります。

図6 最もよかったと思われるもの



注：最もよかったと思われるものに対し複数回答の課があったため、合計数は事業数と異なります。

その他意見：人権の大切さについて考える機会となった。(2件)
平和の大切さについて考える機会となった。
市民主体による新たなイベントがスタートした。
コロナ禍ではあったが多くの団体の参加が得られた。